

「丁寧に関わる大切さを伝えたい」

発達障害児向け相談室 開設10年

内匠さん夫妻（福岡市早良区） 本を出版

発達障害児を支える相談室を開設して10年になる福岡市早良区の内匠敬人さん（59）、良子さん（59）夫妻が「お母さんと先生に伝えたい60のこと」発達障害児の力を引き出すために（1575円）を出版した。「得意なことをする中に、苦手克服のヒントがある」など、前向きな関わり合いの大切さを教える。

【青木絵美】

内匠さん夫妻は、市の心身障がい福祉センターなどにそれぞれ勤めた後、「（卒入学などの）節目を問わず長

係や学習面など特定のこと」が苦手な発達障害児に対し、「周囲が『子供の苦手なこと』を気にし過ぎて、良いところすら伸ばせていない」と感じた内匠さんが、2人で実践する支援の考え方をまとめた。

例えば、在籍学年の学習内容が苦手であれば、市販のやさしい問題集などを使い、子ど

して自信をつけさせる。子どもたちは、遅れてでも苦手課題を解く力を身につけたといい、他にも▽叱るのではなく「教える」▽言いつけた行動は最後まで見届ける▽特別な配慮は身についたら少しずつ外す——など計60項目を挙げた。

内匠さんは「特別なことはなく、丁寧に関わりの大切さを伝えたい」と話す。内匠さん092・821・5005。